

年間授業計画

上水 高等学校 令和7年度

教科 芸術

科目 工芸 I

教科: 芸術

科目: 工芸 I

単位数: 2

単位

対象学年組: 第 1 年次 A 組 ~ D 組

使用教科書: (工芸 I (日本文教出版))

教科 芸術

の目標:

芸術の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、心豊かに発想し構想を練ったり、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸作品を愛好する心情を育む

科目 工芸 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて製作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身についている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		発 想	デ ザ イ ン	技 能						
一 学 期	オリエンテーション 創作活動としての工芸	オリエンテーション 創作活動としての工芸 基本的な工具の使い方 安全な作業の方法								○ ○ ○ 10
	多様な美意識への関心と理解を深める 立体的な装飾、球面を模様や色で構成する	工芸と生活の関わりについて考える 下絵、アイデアスケッチの描き方 木目込み鞆のストラップ(日本の伝統工芸)の制作	○	○	○					○ ○ ○ 18
二 学 期	日用品のデザインを考える 自分の生活を振り返り、使いやすさ、デザインの美しさを考える	ダイヤモンドペンを用いたガラス工芸(グラスリッツェン)に取り組みさせる 透明な素材を活かしたデザインを考えさせる 安全な作業のために必要な条件について考察させる	○	○	○					○ ○ ○ 16
	金属素材の性質を考える 金属の様々な加工法について研究する	金属加工方法について、自ら調べる ビューターインゴットを素材とした指輪の制作に取り組み 金属の特徴をデザインに活かすことを考える	○	○	○					○ ○ ○ 18
三 学 期	布素材の特性と布製品のデザインについて考える 様々な染色方法について研究する	各種の染色技法について研究し、その特徴を考察する 型染め(ステンシル)を用いて、トートバッグの装飾に取り組み	○	○	○					○ ○ ○ 16
									合計	78